

次の漢文の書き下し文と現代語訳を書きなさい。

(1) 歲月 不 待 人

歲月は人を待たず

現代語訳

歲月は人を待たない(で過ぎていく)

(2) 人 非 木 石

人は木石に非ず

現代語訳

人は木や石ではない
(木や石と違い、
喜怒哀楽の感情があるのは当然だと言うこと)

(3) 見 義 不 為 無 勇 也

義を見て為さざるは勇無きなり

現代語訳

正しいことを見ながら実行しないのは、
勇気が無いのである

(4) 思 無 邪

思邪無し

現代語訳

少しも邪念がない

(5) 弗 食 不 知 其 旨 也

食らばざれば其の旨きを知らざるなり

現代語訳

食べてみなければ、
そのうまさはわからない

(6) 計 無 從 得

計るに従りて得る無し

現代語訳

※ 従りて：それによって
あれこれ考えてもそれによって
(すぐに良い考えが)浮かぶわけではない

(7) 百 聞 不 如 一 見

百聞は一見に如かず

現代語訳

何度も聞くより、
自分の目で見て確かめる方がよい

次の漢文の書き下し文と現代語訳を書きなさい。

(1) 己 所 不 欲、勿 施 於 人

書き下し文
己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ

現代語訳
自分が望まないことは、人にしてはならない

(2) 君 莫 笑

書き下し文
君笑ふこと莫かれ

現代語訳
君よ笑ってはいけない

(3) 子 無 敢 食 我 也

書き下し文
子敢へて我を食らふこと無かれ

現代語訳
あなたは決して私を食べてはいけません

(4) 過 則 勿 憚 改

書き下し文
過ちては則ち改むるに憚ること勿れ

現代語訳
過ちを改めるのに躊躇するな

(5) 勿 傷 吾 仁 也

書き下し文
吾が仁を傷つくること勿かれ

現代語訳
私の仁徳を傷つけてはならない

(6) 無 説 己 之 長

書き下し文
己の長を説くこと無かれ

現代語訳
自分の長所は自慢するな

(7) 毋 妄 言

書き下し文
妄言する毋かれ

現代語訳
みだりなことを言ってはならない

次の漢文の書き下し文と現代語訳を書きなさい。

(1) 欲^{スルモ} 与^ニ 常^ノ 馬^一 等^{シカラント}、不^レ 可^{カラ} 得^レ

書き下し文 常の馬と等しからんと欲するも、得べからず
現代語訳 並の馬と同じ働きをしようとしても、(それさえ)できない

(2) 鳴^{ケドモ} 之^ニ 不^レ 能^ハ 通^{ズル} ニ 其^ノ 意^ニ

書き下し文 之に鳴けども其の意に通ずる能はず
現代語訳 馬の意思を理解することもできない
鳴いても

(3) 不^レ 可^{カラ} ニ 尽^{コトトシテ} 信^ハ 一^ズ

書き下し文 尽くは信ずべからず
現代語訳 全部は信用できない

(4) 臣^ハ 不^レ 得^ニ 越^{エテ} 官^ヲ 而^{シテ} 有^ル 功^ト

書き下し文 臣は官を越えて功有ることを得ず
現代語訳 臣下は自分の職務の範囲を越えて功績をあげることができない

(5) 懐^{ヒテ} ニ 佳^ヲ 人^ヲ 一^ニ 不^レ 能^ハ 忘^ル

書き下し文 佳人を懐ひて忘るる能はず
現代語訳 美しい人を思い忘れることができない

(6) 莊^ニ 不^レ 得^レ 擊^ツ

書き下し文 莊撃つを得ず
現代語訳 項莊は撃つことができなかった

(7) 退^{キテ} 不^レ 得^ニ 相^ニ 忘^ル 一^ヲ

書き下し文 退きては相忘るるを得ず
現代語訳 退いても忘れることができない

次の漢文の書き下し文と現代語訳を書きなさい。

(1) 家貧不常得油

家貧しく常には油を得ず

現代語訳

家は貧しく、いつもは灯油を買えなかった

(2) 不然、籍何以至此

然らずんば、何を以て此に至らん

現代語訳

私(項籍)がどうしてこうするまでに至ろうか、いや、至りはしない

(3) 好読書、不求甚解

書を読むを好むも甚だしくは解することを求めず

現代語訳

読書は好きだが、それほどにはつきつめようとはしない

(4) 遇禍災者、不可勝数

禍災に遇ふ者、勝げて数ふべからざるなり

現代語訳

不幸な目に遭う者が、数えきれないほどだ

(5) 勇者不必有仁

勇者は必ずしも仁あらず

現代語訳

勇気のある者が必ずしも仁徳があるとは限らない

(6) 今兩虎鬪、其勢不俱生

今兩虎鬪はば、其の俱には生きざらん

現代語訳

もし二匹の虎が戦ったならば、その成り行きとして、どちらも生き残るとは限らないだろう

(7) 兔不可復得

兔は復た得べからず

現代語訳

兔は決して手に入らなかった

次の漢文の書き下し文と現代語訳を書きなさい。

(1) 偶 有 二 名 酒 一 無 二 夕 不 飲

書き下し文
偶名酒有り、
夕べとして飲まざること無し

現代語訳
たまたま名酒があったので、
一晩として飲まないことはなかった

(2) 無 非 教 也

書き下し文
教へに非ざる無きなり

現代語訳
教訓でないものはない
(||すべて教訓になる)

(3) 非 不 惡 寒 也

書き下し文
寒きを悪まざるに非ざるなり

現代語訳
寒さをきらわないわけではない

(4) 有 所 不 足 不 敢 不 勉

書き下し文
足らざる所有れば、
敢えて勉めずんばあらず

現代語訳
足りないところがあれば、
努力しないわけにはいかない

(5) 天 下 莫 不 称 君 之 賢

書き下し文
天下君の賢を称せざる莫し

現代語訳
天下にあなたの賢人ぶりを
称賛しない者はいない

(6) 弟 子 不 必 不 如 師

書き下し文
弟子は必ずしも師に如かずんばあらず

現代語訳
弟子は必ずしも
先生に及ばないとは限らない

(7) 吾 未 嘗 不 得 見 也

書き下し文
吾未だ嘗て見ゆることを
得ずんばあらざるなり

現代語訳
私は今までお目にかかることが
できなかったことはなかった

次の漢文の書き下し文と現代語訳を書きなさい。

(1) 不者、若属皆且為所虜

不者しからずんば、若しが属し皆且しに虜しとする所しと為しらんとす

現代語訳
そうしなければ、お前の一族はみんな捕虜にされてしまうだろう

(2) 有言者不必有德

言こと有ある者ものは必かならずずしも徳とく有あらず

現代語訳
よいことを言う者は必ずしも徳があるとは限らない

(3) 遂去不復与言

遂すなはちに去いって復またた与あらざる言ことはず

現代語訳
二度とはともに語り合わなかった

(4) 秦人視之、亦不甚惜

秦しん人之ひとを視みて、亦また甚ただしくは惜おぼしまさず

現代語訳
秦の人たちはこれを見て、それほどには惜しまない

(5) 不違農時、穀不可勝食也

農のうの時ときを違ちがへずんば、穀こく勝かけて食くらふべからざるなり

現代語訳
農業の時期をはずさないならば穀物は食べきれないほどだ

(6) 黄鹤一去不复返

黄わう鶴こく一ひとたび去いりて復またた返かえらず

現代語訳
黄色い鶴はひとたび飛び去ると、決して帰ってこない

(7) 懿不敢逼

懿い敢あえて逼せまらさず

現代語訳
司馬懿はしいて近づこうとはしなかった